

2026
FEB
Vol.10

なら医療DX通信

奈良の医療情報連携が動き出す！ —顔が見える、情報共有—

～奈良県医療情報連携協議会・開催～

2月11日(水・祝)、奈良県立医科大学附属病院で「第一回奈良県 医療情報連携協議会」が開催されました。この協議会は、県内の医療機関から情報部門担当者が集まり、これから県内の医療情報連携の方向性、課題などについて、様々な意見交換を行う目的で発足したものです。

今後、2030年に向けて、国策として医療DXの加速が示されており、奈良県の地域医療においても、確実にその波にのり、医療圏を意識して適切に変化していく必要性が共有されました。

医療DXを進める際に全国的に人材や金銭的な不足も共通の課題となっており、それは奈良県でも課題となっています。持続的な人材確保の方法、また施設間のセキュリティポリシー、職員のITリテラシーなどにも大きな差があることが確認され、これからその壁をどう乗り越え、利便性を高めていくかも議論されました。



*さらに深く知りたい方は、
奈良県立医科大学 戦略的医療情報連携推進講座 までお問い合わせください。

Mail : spmic2024nmu@naramed-u.ac.jp



Dr.タマモンの 今月のひとこと

医療現場では、いまだにハンコやFAXが活躍中…。誤送信リスクや情報共有の遅れは、医療の“すれ違い”を生みかねません。医療DX・情報連携を推進すれば、医療者同士、そして患者さんとの情報はスムーズにつながります。届けたいのは想いとチョコレートだけではなく、“全員の安心”。あたたかく、やさしい新たな医療を実現していきましょう。

